

3つの方針

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 凜とした医療人を目指し「自制心・信念・良心・思いやり」を持ち、知識と技術習得に励むことができる人。
2. 社会貢献の意識を持ち、他者への感謝と敬意を忘れず、継続して研鑽に励むことができる人。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラムは、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に準拠し、基礎・専門基礎、専門の3つの分野で構成する。

基礎分野では、「科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解」としてリハビリテーション専門職に求められる教養科目や対人援助の基本となる科目で構成する。

専門基礎分野では「人体の構造と機能及び心身の発達」、「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」として、基礎医学・臨床医学、さらにリハビリテーションに関わる概念を学ぶ科目で構成する。

専門分野では各学科の基礎理論から評価学・治療学への専門領域をはじめ、社会保障制度や職業倫理を学ぶ管理学、さらに実践の場である地域活動や臨床実習を設け、専門職としての基本的、かつ実践的な能力を培う科目で構成する。

3年間の教育課程ではこれらの分野を基礎から応用への発展、学内から学外への実践経験を多く設けてリハビリテーション専門職の能力を培うよう編成する。

1年次には、「基礎セミナー」や「コミュニケーション学」を通して社会適応の基礎を培い、社会に広く貢献できる人格形成を目指す。また、解剖学・生理学・運動学で構成される基礎医学を中心に習得し、リハビリテーション・理学療法・作業療法の理念や歴史、検査測定や介入手段の基本を学ぶ。

2年次には、基礎・臨床医学の知識を深め、病態や障害像を理解し、リハビリテーションを実施するための評価学・治療学を幅広く学ぶ。評価学臨床実習を通して、専門職としての態度を身につけ、基本的な評価技術を習得する。また、キャリアデザイン学を通して未来を創造するための自己発見、自己実現を促す。

3年次には、総合臨床実習を通して、評価・治療技術を総合的に学び、専門職としての基本的な臨床能力を習得し、医療をはじめとする地域社会に貢献できる人材を育成する。また、専門職としての介入の質を保証するための研究方法について学ぶ。

ディプロマポリシー－卒業認定の方針－

1. 専門職としての責任感、職業倫理を理解し、理学療法士・作業療法士としての基本的な能力を習得している
2. 本学の所定の単位を全て習得し、卒業試験に合格している。